| 科目ナンバリング | U-LAS20 10001 SB48 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 英語リーディング ER23 1E4<br>English Reading | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 非常勤講師 黒田　一平 | | |
| 群 | 外国語科目群 | 分野(分類) | | | 使用言語 | 日本語 | |
| 旧群 | C群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 演習（外国語）（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2024・後期 | 曜時限 | 金1 | 配当学年 | 1回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[技能領域]**

アカデミックリーディング

**[授業の概要・目的]**

本授業は、アカデミックリーディングに必要となる読解力や文法知識、教養を獲得することを目的とする。
映画・日常会話・ニュース・プレゼンテーションなどの幅広い教材を用いて、それらの間の文体的な特徴の違いや、多様な言語文化と思想について学ぶ。
前半は精読を中心とし、英文の正確な理解や、日・英語の発想や視点の違いについて扱う。
後半は速読・多読を視野に入れ、要約課題などを取り入れる。
適宜音声・映像教材を用いて書き取り課題を行い、リスニング力の向上を目指す。
また、『京大学術語彙データベース 基本英単語1110』を用いた小テストを行い、語彙力の維持・強化を図る。

**[到達目標]**

・学術英語に資する語彙力を身につける。
・一定以上のレベルの英文を、辞書なしで正確に読解できるようになる。
・一定以上の速さの音声を聞き取ることができるようになる。
・段落や文章全体の内容、著者（話者）の意図を正確に把握できるようになる。
・辞書さえあればどんな英文でも読めるようになる。

**[授業計画と内容]**

第1回 授業概要、評価方法などの説明

第2回～第14回（共通）
・毎回授業開始時に『京大学術語彙データベース 基本英単語1110』を用いた小テストを行う。
・映画鑑賞（各回10分程度を予定、扱う映画については初回に指示）および内容確認。

第2回～第5回
・映画や文学等の翻訳作品における英文を中心に、英語特有の表現や日英の発想の違いについて学ぶ。

第6回～第8回
・主にイギリス英語の日常会話を題材に、聞き取りや読解を行う。

第9回～第11回
・主にVOA等のニュースを題材に、読解や要約を行う。

第12回～第14回
・主にTED等のプレゼンテーションを題材に、要約やディスカッションを行う。

英語リーディング ER23(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER23(2)

≪期末テスト≫

第15回 フィードバック

（授業進度等により、変更する可能性がある。）

**[履修要件]**

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

**[成績評価の方法・観点]**

・毎回授業開始時に行う小テスト：30%
・宿題や授業中の課題への取り組み、授業態度：40%
・【到達目標】の達成度を判断する期末テスト：30%

以上を100点満点換算し、本学の評価基準で判定する。
ただし、5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。

**[教科書]**

京都大学英語学術語彙研究グループ+研究社 『京大学術語彙データベース基本英単語1110』（研究社）ISBN:978-4327452216（適宜プリント・資料を配布する。）

**[参考書等]**

（参考書）
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

・毎回授業の最後に次回の小テストの範囲を指定するので、準備しておくこと。
・毎回授業の最後に次回分の映画のスクリプトを配布するので、目を通しておくこと。（逐語訳する必要はないが、わからない単語等があれば辞書で調べておくこと。）
・その他、宿題として読解や要約の課題英文を課す。詳細はその都度指示する。

**[その他（オフィスアワー等）]**

授業には必ず辞書を持参すること（紙の辞書、電子辞書、ネット・アプリ辞書いずれも可）。
KULASISあるいはPandA上で課題や資料を配布するため、ネットに接続できる端末（スマホ等）を持参することが望ましい。